

サムエル記第一 19 章 1-10 節「主にある友情」

小池 宏明 牧師

真の王である主なる神様に忠実に聴き従うことなく、主を退けたサウル王は、主から王位を退けられた。そして、主からのわざわいの霊はサウルを苦しめ続けた。

*ダビデを妬むサウル

一方、主に選ばれてサムエルから油注ぎを受けたダビデは、主の御力によってますます強められた。羊の番をしていた若いダビデが、ペリシテ人の大男ゴリヤテを倒した出来事は有名だ。(17 章) サウル王は、ゴリヤテを倒したダビデを喜んで、ダビデを頼もしい家臣として迎えたが、次第にダビデがペリシテ人との戦いで大きな戦果を挙げて行くと、サウルの心は「妬み」に囚われていった。サウルはダビデの命を狙うようになった。私たちも「妬み」には気を付けなければならない。他人の評価が上がると自分の評価が下がったように感じて、他人を傷つけてしまうことさえある。主は、サウル王から命を狙われているダビデを助け脱出の道を用意するために、サウルの息子ヨナタンを与えて下さった。(第一コリント 10:13)

主なる神様を信じて歩む者に、主は必ず守りと助けを与えて下さる。私たちは、もしかしたら、それぞれの学校や職場や地域の中にあって、誰かから疎まれる、辛く当たられる、ことがあるかもしれない。私たちは、一時的に逃げなくてはならないことがあっても、主なる神様は、必ず助けを与えて下さる。ダビデは長い間、サウルから逃げなくてはならなかったが、確かな主の助けと守りがあった。

*信仰と愛で結び付くヨナタンとダビデ

ヨナタンは父サウルの命令に従うことなく、ダビデの命を守るために奔走した。それは主なる神様が、そのように導いたわけだが、ヨナタンとダビデの深い友情は、生涯変わることがなかった。

ヨナタンとダビデとの間には、二人を堅く結びつける主なる神様への信仰があった。彼らの間には、主なる神様が変ることない証人として立ってくださった。

私たちにも、共に福音宣教と教会形成のために労苦する仲間がいる。主なる神様への全き信仰に生きる兄弟姉妹こそ、掛け替えのない「親友」であることを覚えて感謝したい。何よりも、主イエス・キリストご自身が、私たちのことを「友」と呼んで下さることに励ましと慰めを受ける。例え、どんな困難があっても、1人で悩むことなく、孤独になることなく、真の友イエス・キリストと、主にある兄弟姉妹たちと共に、生きて行けることを、心から感謝し、賛美をお捧げしたい。